

婦人会だより

NO.98

内部地区婦人会

JA みえきた女性部

平成 26 年 3 月



“内部地区のつながり”

婦人会長 田中英子

JAみえきた合併で、第1回目の女性部1300人のつどい 又、四日市市に合併70周年事業として取り組んだ地区文化祭、太鼓に合わせて800人が大四日市まつり音頭の輪に感激で、人と人とのつながりの大切さでいっぱいでした。

第3回目の郷土芸能大会、フィナーレにふさわしい36名のおどり、ここでも大きな輪になりました。

厳しい季節の中にも、いろんなことがあって温かい、皆さまの思いに囲まれつつ、今年も無事春が迎えられそうです。ありがとうございました。

“踊りの輪・内部の輪”

内部地区市民センター館長 濱田信二

内部地区は、平成25年9月に四日市市に合併して70周年を迎えました。

そのため、記念誌の発行や文化祭での記念事業等さまざまな取り組みを行っていただきました。内部地区婦人会は、いつもその取り組みの中心となり、皆様には大変なご苦勞をおかけいたしました。

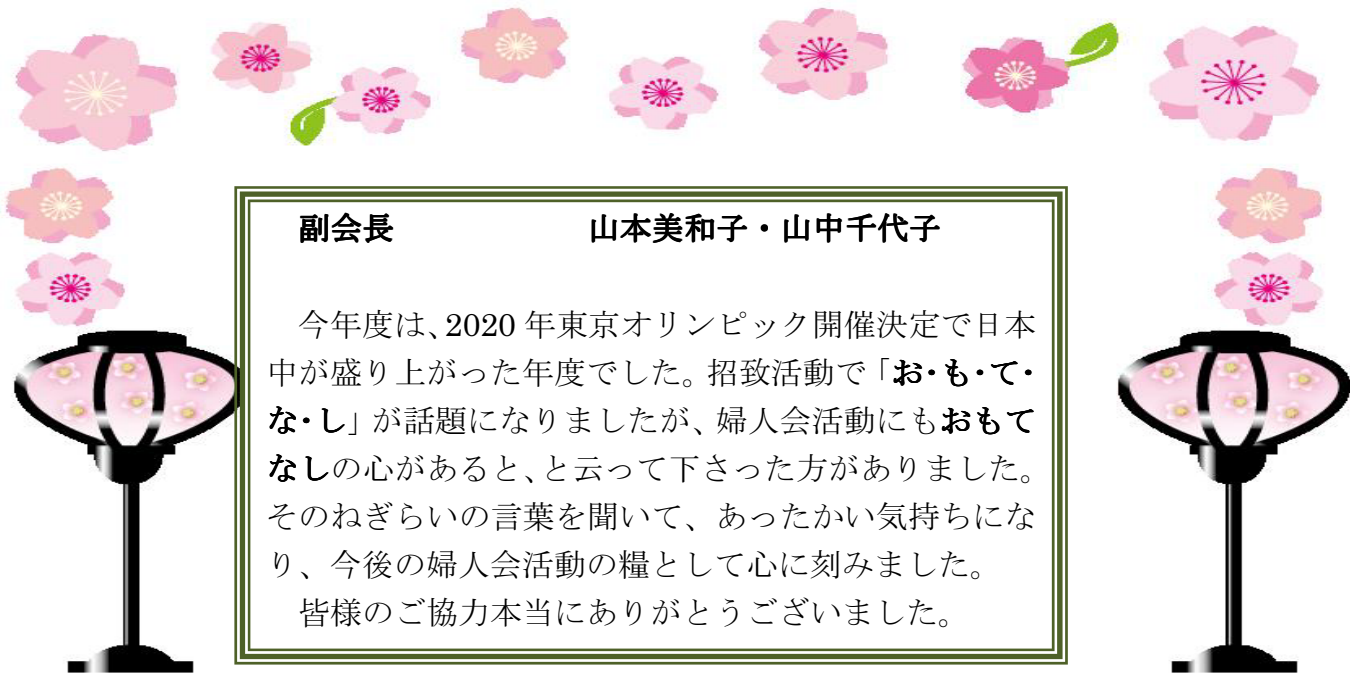
文化祭では、婦人会が中心となり大四日市まつり音頭で、内部地区住民の絆(きずな)を表現するため、「輪になって踊ろう」をテーマに700~800人もの方々が参加し、幾十もの輪を作り、踊ることができました。

平成24年1月の郷土芸能大会で大四日市まつり音頭を披露して以来、8月の大四日市祭りへの参加、3回連続の郷土芸能大会への出場、そして今回の文化祭での取り組み、これこそまさに内部地区を代表する取り組みではないでしょうか。あの輪を見てほろろときたのは私だけではないと思います。

なぜ大変な取り組みをしなければならないのか?その答えが今回少し見えてきたような気がしました。

どうぞ、これからもお体を大切にしながら活動を続けていって下さい。

自分のために、家族のために、そして地域のために!



副会長

山本美和子・山中千代子

今年度は、2020年東京オリンピック開催決定で日本中が盛り上がった年度でした。招致活動で「お・も・て・な・し」が話題になりましたが、婦人会活動にもおもてなしの心があると、と云って下さった方がありました。そのねぎらいの言葉を聞いて、あったかい気持ちになり、今後の婦人会活動の糧として心に刻みました。皆様のご協力本当にありがとうございました。

会計監査

加藤紀子・岡本久子

微力ながら様々な行事に参加させて頂き、無事一年を終え、ホッとしています。振り返って一番の思い出は、「四日市祭り総おどり」「芸能大会」で踊った四日市祭り音頭です。練習・練習で曲が流れてくると、自然に体が動いてしまう自分がいました。来年の盆おどりの時まで覚えていられるか・・・。
一年間ありがとうございました。

会 計

宮田千佳代

役員の皆さまに支えられ無事に終わることが出来ました。婦人会活動でいろいろな行事に参加して、行事がスムーズにこなせるのは役員さんの下準備や段取りを入念に行っているお陰だと感謝でいっぱいです。こんな素晴らしい方々の出逢いが私のパワーの源となりました。ありがとうございました。
文化祭、防災訓練、講演会、料理教室、福祉バザーと地域に重要な役割を果たしている婦人会、一員であることを誇りに思います。



人権協

堀 須美子

一年間ありがとうございました。
人権協では今までも「人権協だより」を発行していましたが、今年からは、今までの組回覧ではなく、各戸配付となりました。また、カラー印刷となり紙面も増え大変見やすくなりました。
皆さん是非、目を通してください。



福祉部

三田村弘子・太田悦子・佐藤純子

いろいろ行事に参加させていただいた中、一人では何もできないけど、皆の力があればやり遂げられると実感した一年間でした。
皆様 ご協力ありがとうございました。



小古曾

岡本久子・田中恒子

昨年、役員をうけさせて頂いて、自分に出来るのか不安に思っのスタートでした。何事も初めてのことばかり、四日市まつりパレードの踊りに参加、宝塚観劇、男女共同参画での初司会、とは言っても終わりの挨拶をするだけなのに胸がドキドキだった事。一泊研修旅行では夜の宴会での出し物、何度も地区の皆さんと練習しました。等々、この一年間沢山のひととの出会い、いろいろな体験をさせていただくことが出来ました。

本部役員の方々はじめ会員皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

北小松

堀須美子・堀 列子

一年間、ありがとうございました。

今年は、例年に比べ行事が少し増えました。しかし、その分役員さんたちの絆がより一層深まったと感じました。

私達が参加した中で、11月24日の防災訓練では女性の役割、ことに婦人会の必要性を痛感しました。いざという時に団結して行動する為には日頃の結びつきが重要だと思います。

会長さんをはじめ本部の皆さん、これからもよろしくお願いします。



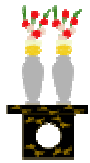
南小松

後藤典子・三谷弘美

昨年一年は、色々な行事に参加でき本部婦人会の団結力に驚きました。

その中で、年明けに参加した「なんばグランド花月」では、朝バスの中からガイドさんに笑わせてもらい、花月に行ってから大笑いをし、日ごろの疲れも吹っ飛んでしまいました。

本部役員の皆様、婦人会会員の皆様の協力をバックアップのもとで元気に役が出来、ありがとうございました。



貝家

上杉 真・加藤加代子

一月に文化会館で行われた芸能大会、様々な地域の伝統芸能や趣味などが披露される中、私たち内部婦人会は大四日市祭り音頭を踊りました。練習の成果もあり、みんなとても上手に楽しく踊ることが出来ました。この一年、様々な行事を通してつくづく婦人会活動の大切さを感じることが出来ました。そして、本部役員さんたち始め、会員の皆様方への感謝でいっぱいです。

皆様、大変お世話になりありがとうございました。

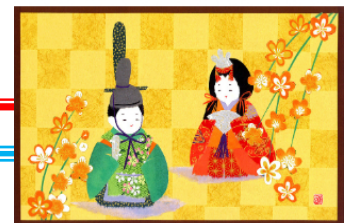


采女南部

坂崎直江・佐藤郁子

平成25年度は「大四日市まつり音頭」の年だったような気がします。8月の「大四日市まつり」の稽古に始まり、文化祭の「総おどり」の為にあちこちへ指導にも行き、1月の「第3回 郷土の誇る芸能大会」の出場まで、何回踊ったでしょう。中でも忘れられないのは、内部地区が四日市市に合併されて70周年の記念イベントとして小学校の校庭で行われた「総踊り」です。人が集まってくれるか？お天気はどうか？など、総責任者であった田中会長のそれまでの心労が解っていただけに、校庭いっばいに何重もの輪が出来、今にも降りそうなお天気も終わりまでもってくれ、思わず「良かった！」と独り言を言い、涙がこぼれました。あまり「大四日市祭り音頭」が他地区で踊られなくなった今、せめて内部地区だけでもずっと踊り守っていきたいものです。

一年間ありがとうございました。



広 報

堀 列子

今年度もまた、素晴らしい人との出逢いに感謝をしながら、25年度が終わろうとしています。楽しく行事にも参加させて頂きました。

先日、同級生8人が集まりました。その中で、内部婦人会は「宝塚観劇」と「吉本初わらい」は毎年企画している事を話しました。すると、その中の二人が、元JA職員であり、会長は田中英子さんだろうと言われ、(びっくり！有名人？さすが！と感動)・・・「最近、JA みえきた婦人会の中で一番活動しているのは内部婦人会や！」とか、「内部婦人会は団結力がある」など良い評価。まるで私が褒めてもらっているような快い気分になりました。40年近い婦人会会員でいたことに誇りを感じました。これは、会長を始めとする本部役員の方々がひとつひとつの行事を念入りに計画し、会員を引っ張って実行されてきた証だと思えます。本当にありがとうございました。(今年の70周年総踊りもその結果！)大成功！ばんざい！